

「登録建築家」

公益社団法人日本建築家協会（JIA）が奨励する
建築家資格の社会制度です

—よりよい社会資産を創るために—

建築家という職域のメンバーは能力・誠実性・職能意識を高い水準に保つことに専念し、そしてそのことによって、建築・都市環境、公共の福祉、そして文化の持続可能な発展に不可欠な、建築家に特有の技量や素質を社会にもたらす。建築家の職能の原則は、法令、倫理規範、そして職業上の行動を定義する規定類によって確立されるものである。

専門能力

建築家は、教育、卒業前と卒業後の職業訓練、そして職業経験を通じて、知識・技能・理論的思考の有機体系を備えている。建築教育、実務訓練、そして試験という制度が組み立てられるのは、建築家に業務を依頼する際、その業務の適切な実施を可能とする水準に建築家が達していることを社会に保証するためである。さらに、大部分の建築家団体、そしてまさにUIAは、建築の芸術および科学に関する知識を維持活用し発展させるとともに、建築という生きた文化遺産を象徴する建造物として尊重し、その拡大に寄与する、ということを自らに課している。

自律性

建築家は、客観的な専門的助言を依頼者や使用者に与えねばならない。建築家は、建築の芸術と科学の追求において、深い学識に基づく妥協の無い専門家としての判断が他のいかなる動機にも優先するという理念を守る義務を負う。建築家はまた、関係諸法令の精神と条文を進んで受け入れる義務を負うとともに、その業務の社会的・環境的影響についても慎重な検討を施さねばならない。

責任

建築家は、依頼者に対しての第三者的な助言あるいは必要な場合の批判的な助言への責任、そして自らの仕事が社会や環境に及ぼす影響への責任を自覚する。建築家はその職能的業務サービスを遂行するのは建築家自身があるいはコンサルタントとの協働により、その業務に特有の関連技術分野について、教育、訓練および、または経験に基づき、実務能力を備えている場合に限られる。

献身性

建築家は、依頼者そして社会のために業務に従事し、高度に無私の献身を示さねばならない。この職業に従事する者は、依頼者のために能力を惜しまず、また職能に相応しい対応をし、依頼者に代わって予断や偏見の無い判断を示さなければならない。

登録建築家

の輪が全国に広がっています。

北海道 61名

東北
青森県 13名
秋田県 5名
岩手県 10名
宮城県 38名
山形県 5名
福島県 11名

関東甲信越
東京都 450名
神奈川県 62名
埼玉県 24名
千葉県 26名
茨城県 9名
栃木県 3名
群馬県 9名
山梨県 3名
新潟県 13名
長野県 19名

近畿
大阪府 87名
兵庫県 30名
京都府 17名
滋賀県 8名
奈良県 4名
和歌山県 11名

東海
愛知県 95名
岐阜県 6名
静岡県 11名
三重県 12名

北陸
富山県 12名
石川県 19名
福井県 9名

沖縄 18名
海外 3名

〔2025年4月現在〕

公益社団法人日本建築家協会 The Japan Institute of Architects [JIA]
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18JIA館 Tel 03-3408-7125

www.jia.or.jp

実績条件の代替えや加算条件として「登録建築家」資格を、ぜひ活用ください。

登録建築家検索



登録建築家とは

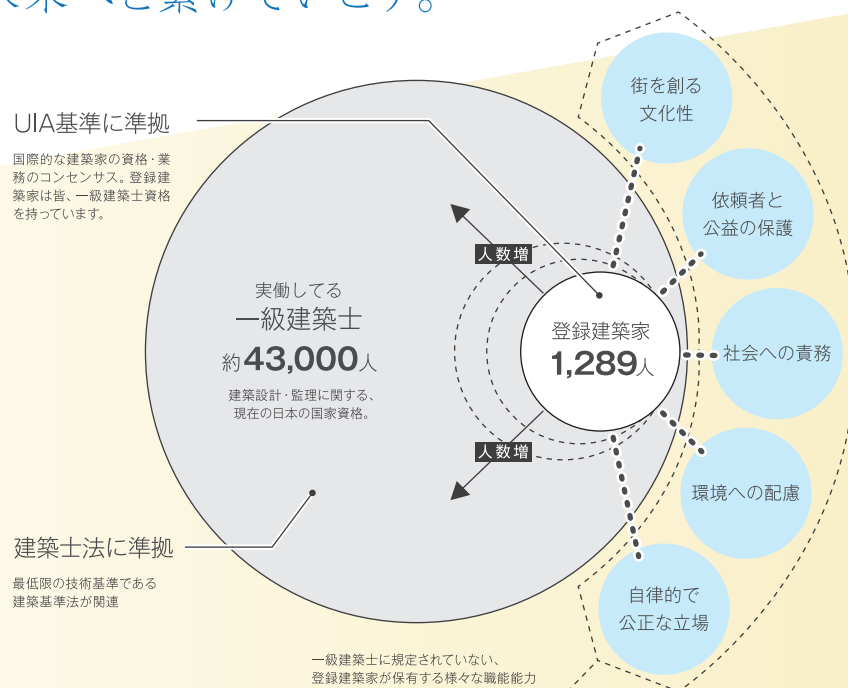
「建築家」の国家資格が日本にはない中、
世界共通基準に準拠しています。

建築物はその規模や用途・所有者を問わず、都市や社会にとっての大切な資産です。私たちにとっての仕事や日常生活の基盤であり、都市の美醜を左右する街並みの主役です。そして人生の光景やその記憶の舞台として、私たちの心を豊かに保つ文化資産です。建築家は、安全で美しく快適な建物を設計する責任を建て主に対して負うとともに、私たちが暮らす都市・街・地域に文化を蓄え、豊かな環境を育てる責任を社会に対して負っています。「登録建築家」はこれらの責任を全うできる建築家の資格であり、これを名乗る者の資質・能力・倫理を社会に約束する制度です。厳格な規則のもとで継続職能研修(CPD)を課し、公正な認定と更新審査でその水準を確保しています。「登録建築家」とは、あなたと社会を守る、世界水準の資格制度なのです。

公益社団法人日本建築家協会(JIA)は、日本を代表して国際建築家連合(UIA)に加盟しています。「UIA協定」は、建築家の教育・資格・業務・倫理、依頼者や公共の利益の保護等、多岐にわたり定めた世界的なコンセンサスであり、建築家資格の基準となっています。UIA基準の建築家資格は日本にないため、JIAが第三者的な「建築家登録認定機関」を設置し、UIA基準の建築家の認定・登録を行っています。一般名詞としての建築家ではない、公益保護の証としての「登録建築家」は、建築士制度が担保する内容を包摂しつつもさらに「職能資格」として設計されており、APECアーキテクトへの登録手続きも優遇されています。「登録建築家」は全員が一級建築士であるとともに、統括的な立場での5年以上の実務経験を有し、3年に1回の更新審査を受けます。「登録建築家」は技術にとどまらない、人の生き方に奉仕するプロフェッションです。

美しいシーンを創り、未来へと繋げていこう。

一級建築士の資格が作られた時代は戦後間もない昭和25年です。戦後の復興が急務で、ハードを早急に整備していく必要がありました。現代においてそれでは不十分で、依頼者や社会、文化や環境に対する責務、依頼者の保護や街を創っていく文化性などを実践する能力が必要です。登録建築家は建築士制度をこのような能力で補完する職能資格です。
環境に配慮しながら、美しい街並や建築を生み出していくことは、人々の心に景観に対する愛着を育み、それを大事にしていこうとする思いへと発展します。美しいシーンを創り、それを後世に繋げていくために、建築家資格制度は存在しています。



プロポーザルと登録建築家

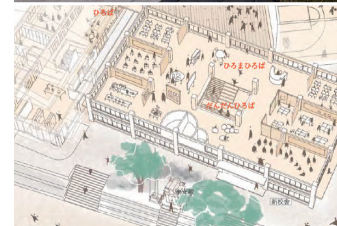
登録建築家の活躍の場が増えています。

UNESCO-UIA建築教育憲章では基礎教育として、全日制5年相当の建築教育が求められています。日本の一級建築士が計画分野だけでなく、構造や環境設備に携わる技術者も含んだ包括的な資格であることから、エンジニアと明確に区別された「アーキテクト」として、国際的に社会の信頼に応え得る建築家のライセンスが必要です。国内外における共同プロジェクトやプロポーザルなどへの参加要件として、今後ますます高い水準が求められるでしょう。大切なのは建築家一人ひとりが、地球環境や歴史風土の保全、よりよい生活環境の構築に寄与する高い意識を持つことです。自治体の皆様やこれから登録建築家となる皆様がより良い社会を創るために、この制度を利用いただければと思います。



古谷誠章

建築家認定評議会 議長(2020~2025年度)
有限会社ナスカ 代表取締役
早稲田大学名誉フェロー



登録建築家が参加要件の代替となった事例 ▲

〔阿久根市民交流センター 風テラスあくね〕設計／古谷誠章+NASCA
受賞(登録建築家)／設計競技プロポーザル 最優秀賞 2013

〔西尾市生涯学習センター(仮称)〕設計／合同会社斎藤信吾建築設計事務所
受賞／設計者選定設計競技 最優秀案 2023

〔古仁屋小学校〕設計／西沢立衛建築設計事務所
受賞／建築基本設計公募型プロポーザル 最優秀提案者 2025

コンペ・プロポーザルにおける参加要件の動向

これまでに、「岐南町庁舎(2012年)」や「西尾市生涯学習センター(仮称)(2023年)」の公募型設計競技、ならびに「阿久根市民交流センター(2013年)」や「伊佐市庁舎(2020年)」をはじめとする公募型プロポーザルのように、登録建築家の資格が実績条件の代替要件として採用される事例が増えています。また、「旭川市総合庁舎(2017年)」の事例においては、参加者の設計体制の評点加算対象としても取り扱われました。全国的には、登録建築家の更新要件であるCPDについては、建築CPD運営会議または加盟団体が発行する実績証明書を提出することにより、プロポーザル等の審査において評価対象とする動きが各地で見られます。さらに、登録建築家はPUBDIS(公共建築協会が運営する技術者情報データベース)に表記できる取得資格ともなっており、この動きは今後も広がることが期待されます。

登録建築家が参加資格要件、または参加資格要件に加えられた設計コンペ、プロポーザルの事例

実施年	選定方法	都道府県	物件名	参加資格要件
2012年	コンペ	岐阜県	岐南町庁舎	登録建築家、または統括設計専攻建築士(一定の建物用途、延床面積実績の代替要件)
2013年	プロポ	鹿児島県	阿久根市民交流センター	登録建築家、または統括設計専攻建築士(同類用途3,000㎡以上の設計実績代替要件)
2014年	プロポ	愛知県	春日井市ことぶき町公民館	登録建築家、または統括設計専攻建築士
2016年	プロポ	宮崎県	内藤記念館再整備基本設計	登録建築家、または統括設計専攻建築士(同類用途1,000㎡以上の設計実績代替要件)
2019年	コンペ	北海道	南5西4・Nビル新築工事	登録建築家、または当選後に登録建築家の認定申請を行うもの
2020年	プロポ	鹿児島県	伊佐市庁舎	登録建築家、または統括設計専攻建築士(公共建築2,000㎡以上の設計実績代替要件)
2023年	コンペ	愛知県	西尾市生涯学習センター(仮称)	登録建築家、または統括設計専攻建築士(公共建築設計実績の代替要件)
2024年	プロポ	鹿児島県	古仁屋小学校基本設計	登録建築家、または統括設計専攻建築士(公共建築1,000㎡以上の設計実績代替要件)

登録建築家の資格保有によるプロポーザルの加点やCPDの採用等は全国的に展開しています。

〔2025年4月現在〕